

こいで ひろあき
小出 裕章 氏 講演会

元京都大学原子炉実験所助教

2011年3月11日福島第一原発事故の原因はまだ不明です。いまだに毎日排出されている汚染水、特にトリチウムの汚染水が膨大でタンクにあふれかえるほど保管されています。

トリチウムは人体にどのような影響があるのか？
泊原発から出るトリチウムは？
事故を起こした福島第一原発の現実はどうなのか？

原子力発電所に対して意見を言ってきた不屈の研究者小出裕章氏に語ってもらいます。

● 講師 ●

小出 裕章 さん



1949年、東京生まれ、1968年、原子力の平和利用に夢を抱いて東北大学工学部原子核工学科に入学。

1970年、宮城県女川での反原発集会への参加を機に原発をやめさせるために原子力の研究を続けることを決意。1974年京都大学原子炉実験所助手になる。呼称が変わり定年まで助教に。定年後各地で講演活動を行っている。

著書 「隠される原子力・核の真実—原子力の専門家が原発に反対するわけ」「放射能汚染の現実を超えて」「原発と憲法9条」「原発の真実」「最悪」の核施設六ヶ所再処理工場」「100年後の人々へ」など多数

日時 2017年 **10月13日** (金) 午後6時30分より
(開場午後6時)

場所 岩内地方文化センター2階研修室 岩内町万代51-7 ☎0135-62-0001

入場料 資料代として500円をご負担願います。